

## 郡家コミュニティセンター 市長と語る会

日 時：令和6年2月1日（木） 午後2時00分～3時45分

場 所：郡家コミュニティセンター

参加者：9名

担当者：市長、地域担当職員 野本（スポーツ推進課）、地域担当職員 山野（文化課）塩田（広聴広報課）、中原（広聴広報課）

### 1. あいさつ

#### (所長)

皆さんこんにちは。市長と語る会について進行は次第のとおりとなっており、会長と市長の挨拶の後第1部、地域の課題と解決方法、質問事項回答を経て第2部、快適な住環境の形成。

その前に、私の方から郡家校区の概況について説明する。郡家校区は郡家町三条町含め、11のため池がある面積5.3キロの平たん地である。令和5年3月現在、人口1万2962人。単位自治会121、加入世帯2110。自治会加入率38.9%となっている。

松永市長も隣の川西町ということで郡家町の現状はよくご存じだと思うが、昔は純農村地域であったが宅地化が進み、現在は住宅商業地に変貌している。過去10年で人口減少、500人程度。急激な人口減少はないが、農業離れと新興住宅の進出もあり、若い世帯の余裕はなく、次の担い手としての機能不足。自治会活動の活動もままならない現状である。

この地区は地盤調査も含めリスクが小さく、防災意識も脆弱である。しかしながら危険箇所が数ヶ所あるので、再点検も必要と思われる。

60歳以上の高齢化率、令和5年3月で31.1%。それほど高齢化率が高くなっている現状ではない。

今回の市長と語る会、皆さん方の忌憚のない意見を願います。10人いれば10通りの考えがあるので、いい方向が見出せれば幸いである。それでは、会長ご挨拶をお願いいたします。

#### (会長)

所長からお話があったように、郡家校区の概要を説明させていただく。

私がコミュニティの会長を引き受けてから5年目が終わろうとしている。この5年間で感じたことは、郡家は恵まれていることに、子供、小学校の児童数も多い。こども園も校区内に3つあり、ABCを入れたら4つになる。

高齢者については、若年層と高齢者層が同じくらい暮らしている町ということで、所長も話したように、高齢化が一方向的に進んでいる地域ではない。今も団地が造成されており、ますます若年層の住民が増える可能性が高い。ただし、その分高齢者の住宅が空き家化しているという現状である。

私も市の外郭団体で長く勤めた後、現在の役を受けている。丸亀市内17コミュニティあるが、基本的にはコミュニティと市はお互いに協力し合って、地域住民のために何かできることを一緒になってやっていこうというのが理想的な姿勢だと思うので、コミュニティと市とで地域を盛り上げていきたい。役員一同、そういう目標で頑張っているところである。

今日はいろいろざっくばらんに、せっかくの機会なので、話ができればと思う。大勢いればいろんな意見があると思うが、本当に内輪の会という雰囲気でお話できたらと思う。よろしく願いたい。

#### (所長)

それでは松永市長、挨拶をお願いしたい。

## (市長)

郡家コミュニティの方々には大変お世話になり感謝申し上げます。私はこの4月の終わりが来たら市長になり丸3年間である。まだまだ新米だが、元気なまちづくりに一生懸命取り組んでいる最中である。皆様方には大変ご理解いただき、また色々のご意見もいただけていること、この場を借りて御礼を申し上げます。

まずは、能登の災害について。七尾市は50年前からの親善都市であり、発災直後は様子を見て翌日、状況を聞き、市長が電話に出られるような状態か確認し、電話をした。

丸亀市としては本気で支援をするので何でも言っただけと伝えたいところ、物をどんどん送ることはしないで欲しいと。その時七尾市は職員もまだほとんどが集まっていない状態だったので、物が来ても受け入れする場所も、職員の体制も全然取れていないというような状況だと聞いた。それを聞いて、人が一番必要だと思い、5日から職員3人を派遣した。リエゾンとって、向こうで何が必要なかを調査するという形で行ったが、直ぐの報告では、いろいろな荷物が役所に届いているが、受け入れする人もいないし、場所も確保できてない、それを本市の職員が空いているスペースに下ろす作業をしたということであった。

3月末までは常時3人を交代で派遣する体制。手を挙げてくれた職員が行っている状況で、本当にありがたく思っている。4月以降はあちらで必要となる物事に、順次対応していきたいと思っている。

先々週は、丸亀市職員5人と観光協会3人の8人が行き、全部で2,000食、自己完結で水など全部持って行き、うどんの炊き出しを行った。

向こうは上水道だけではなく下水も全部壊れているため、調理後の真っ白になっている水を全部持って帰ってきた。下水に流してその辺に広がるだけという状況なので全部持って帰ってきたと言うその職員の対応に感心をしたところである。長期間になると思うが、苦しい時は、お互いという気持ちで、しっかり応援していきたいと思っている。

ここから丸亀の話。本当に嬉しいこととして、去年の4月から小中学校の給食費の完全無償化ができた。それと、18歳までの医療費を完全無償化とした。私は19年前に市議会議員になり、この給食費と医療費の無償化ということを目ざして描いていたため、実現してとても嬉しい。

これにはかなりの財源確保が必要で、市民の皆様方のご理解とご協力があり、その財源が確保できたと思う。また、職員もそれに対する努力をしたということが大変嬉しく思っている。

近々では、お米5キロずつを22歳までに配っており、大変好評で嬉しい。5キロ、1500円ぐらいであるが、国の交付金で全部配布をしている。

また、今後、一世帯に5000円のガソリン券、これも国の交付金で配らせていただく。それ以外にも、市民の皆様方のご理解とご協力、また職員の頑張りもあり、私が思うようなことが順次できている。

一番お金がかかっているのは、公共の建築物。40数年以降の50年というのを目安に建て替えをしていかなければいけないというのがあり、特に学校関係が前倒しでやろうということで、つい先週、綾歌中学校体育館の起工式があった。

今後、郡家小学校全面改築、城南小学校全面改修、城坤小学校全面改修を始めるところで、子供のためにも早めにしていこうということでやっている。予定外だったのは物価高騰である。

1つ例を挙げると、城東小学校は大雨が来たら浸水し、平成16年は下駄箱が全部浮くような状態であった。国からは全面改修と言われているが、建て直すしかないと思いき、市長になってすぐに全面改築と決めて進んでいって、その当時、2年半ぐらい前は40億円ぐらいかかると言われた。そんなに高いのかというような話をしていたが、昨年秋には50億円を超えてしまった。予定外であり、予算的なものが苦しい状況になっている。しかし、学校関係を始めとした前倒しですると決めたものは、順

次やっ払いこうということ、この間も幹部職員と話し合ったところである。

今日はいろいろな意見をいただいて、またそれをまちづくりに活かしていきたいと思っているので、どうぞよろしくお願いする。

## 2. 第1部 コミュニティ活動の紹介・意見交換会

(所長)

それでは第1部、地域の課題と解決方法、意見交換。前もって、役員からの質問事項は市へお送りしている。そして市の方から詳細な回答をいただけることになっている。それでよろしいか。

(市長)

最初の青色防犯パトロールの車について。丸亀市では皆様方のご理解とご支援、ご協力もいただきながら続けているが、安全パトロールに出てきているメンバーの高齢化と、次の担い手不足については、全市的に全く同じように苦慮をしているところである。そういった中でも、協力いただき、本当にありがたい。まずはお礼を申し上げる。

そこで今回、例えば民間企業の参入の提案をいただいているが、その予算については、今のところ市の教育委員会では予算立てをしていないことをお伝えしておく。

先ほどの担い手という点を考えると、色々なことを検討しなければいけないという状況で、子供の安全確保ということは、もちろん検討するようにはする。

その中で、教育委員会としてさらにやろうとしているのが、安全教育の充実。子供たちへの指導充実をこれからより一層努めていくということである。安全、特に交通安全に関する様々な危険要因や事故の防止ということ、子供たちも理解をしてもらいながら、日常生活上での安全というものもあるので、子供たちが自ら判断し、安全な行動ができるように教育をしていく。

そして、現在、安全パトロールをしていただいている方々にも、引き続きよろしくお願いしたいということである。現時点では、そのような回答である。

それと青色パトロール車については、郡家小学校の公用車に青色回転灯が整備されている。公用車は、学校関係者は育成センターが、市役所関係では危機管理課がそれぞれ講習会を開き、それを受けた方が青色回転灯の車に乗れるということになっている。ただ、コミュニティはその対象外になっていることをお伝えしておく。

(会長)

昨日、南中学校で南学校群の小中連携の会議があった。教育部長も来ており、その中で南中の教頭先生が、南中の校区、郡家町・三条町・垂水町・川西町、ここで共通して取り組めることということで、まずはシンボルマーク的なものを作ろうという話をした。垂水の会長は、それは前向きに考えようという話になった。

そこで私が、具体的にロゴができればTシャツなりジャンパーなり作って、それを安全パトロールの人に3町合同で配布して、安全パトロールも、郡家も担い手が減ってきているので、一緒に歩いてくれる人を探すのは非常に困難であり、小学生、中学生が下校時間のときに、自分の家の近くの交差点で立って見守るくらいであれば協力してくれる人がいるのではないかと。そういう方に共通のユニホーム、ロゴが入ったものを前向きに検討したらどうかと。

4町のコミュニティの会長で来ており、予算的にはコミュニティでそういうものを作ったらいだろうと。教育部長も話を聞いてくれていると思うので、また帰って教育委員会と話をさせていただいたらと思う。よろしくお願いしたい。

(市長)

全市的な課題の1つ。たくさんの方がパトロール、子供たちと一緒に歩いてくれたりしているが、高齢化し、次の方がなかなかいないのが現状。

(会長)

立つだけの人でも探したらと思う。家の近くの交差点で、小学校の児童の下校時間と、中学校の生徒の下校時間、大体1時間から2時間弱ぐらい、そのぐらいの間であれば協力してくれる人もいるのではないかと、昨日出た意見である。

(コミュニティ1)

私は土地改良をいろいろお世話させていただいているが、通学路に関して不安な箇所については改修してください等言われて協力はしてきた。今回3月ぐらいから大池を全部グリーン道路にしているが、宮池と大池の間が狭い。車が1台だけしか通れない広さなので、都市整備部長も協力していただいて、それから武田議員さんも。それで多分やってくれると思っているが、一部堤防を掘削してもいいから拡幅しないかと。土地改良や県道連も、多分了解はさせていただいたと思うが、一応そういうことで拡幅する計画があって、何か話が出てきたらよろしくお願ひしたい。まず車が通っていても生徒には影響ないように、堤防削ることについてはうちの方も了解、協力させてもらう。

(市長)

私の子供が南中に通っていた時から郡家地区の小学校のところから西の県道まで行く道が、国の公共事業でやると言われながらなかなか進まなかった。私が市長になり話をしに行ったら、すぐに工事してくれて完成したのが嬉しかった。

先ほど言っていた、池の土手を、というのは大丈夫なのか。

(コミュニティ1)

幅が3メートル以上あれば、最低限の幅はいる。あとは強度が大丈夫か、その辺は審査があるので、こういう案でやると煮詰まっている。だから、それをやるかどうかという話も起こってくると思う。

(市長)

なぜ聞いたかという、道池の交差点が開業するのに11年もかかった。要は道池の土手にかかったら駄目なのではないか。

(コミュニティ1)

3メートルでなだらかな勾配でおりてきているので、立ち上げていったら、堤防を削っても強度的に問題なければいいということで、だから安全。1メートルくらい削っていくのではないかと。一番底辺のところでは削りしろがないので、三角に削っていくのではないかと。安全に関してはある程度そういったこととか、それから安全のポールとか、いろいろとやっていただいている。今の件は、大池の宮池側から上がる坂道。

(コミュニティ2)

郡家婦人会から。郡家婦人会では60年近く、初めて敬老会の案内があった方の写真を撮っていた。コロナになって敬老会がなくなり、写真だけでも撮ってあげたいなと思って、現在はコミュニティ新聞の編集長をされていた方が、この部屋で80歳になった方の写真を撮っていたが、できなくなったのは市役所から名簿が出なくなったから。案内ができなくなった。60年ぐらい続いている写真撮影で、とても残念に思っている。

(市長)

名簿が出せないと言われたのか。

**(会長)**

出せないというか、敬老会をコミュニティでやってくれという話になった。数年前、各コミュニティにアンケートをとったと思う。高松市などはコミュニティで敬老会をしている、来年以降どうですか。その際、私が「高齢者福祉をコミュニティに丸投げするのか」と聞いたが、実際のところそういう形になった。令和5年度は、敬老会の案内もコミュニティで出すことになり、校区の対象者の名簿は渡すが、個人情報の取り扱いはきちんとするように、何か問題があったらコミュニティで責任取るように、といったような念書を書く。

そこまでさせるのであれば、郡家はもう敬老会はしないと。そういった、コミュニティに丸投げ以上の印象である、私からしたら。

**(コミュニティ2)**

その前までは市が案内状を作ってくれて、コロナ前は出していたでいた。

**(市長)**

議員時代は川西町の敬老会は毎年行っていた。帰りに何軒か回って品物を持って行ったりしていた。

**(会長)**

敬老祝い金は確かに市から対象者に渡している。敬老会自体はコミュニティでやってくれ、例えば桂こけしさん呼んでもいい、一コミュニティあたり上限50万を市が補助しますと。その50万の範囲を超えるのであればコミュニティの負担でやってください、というやり方になったが、なかなかそれは難しい。

**(所長)**

私も各コミセンで聞いたが、50万条件でやったが、本当にペットボトル1本まできちんとチェックされてこれでは出来ないと、所長会ではそういう話があった。もっと緩くというと語弊があるが、ペットボトル1本まで本数と合わせて出してこいということ言われたところも実際あった。

各コミュニティ50万であるが、規模が大きいところと同じようなやり方は出来ないと思う。ここは多いから、例えば誰か、こけしさん呼んで30万ぐらい払うと、あとペットボトルで精いっぱいだと思う。他では、こけしさん呼んでちょっとしたお菓子を出して、まだおつりが出たと聞いている。

**(会長)**

要はコミュニティの規模である。それなのに均一はどうか。それがコミュニティを続けていく上で非常に難しくなっているのではないかと感じている。コミュニティセンターの運営自体も、全コミュニティ均一。最初に所長が話したように、郡家は自治会が120ある。少ないところは20ぐらいではないか。そこは、やはり事務量というか仕事量は大分違う。その辺も均一でなく、規模に応じた予算配分を市が考えてくれたらありがたい。

**(市長)**

これは2番の質問、市のコミュニティに対する将来的展望ということで回答させていただいてよろしいか。

**(会長)**

はい。

**(市長)**

私も議員になる前、地元コミュニティ立ち上げのときからメンバーに入った。自分たちの町を自分たちでやろうと会長から言われたことを思い出す。

どこのコミュニティでの話でも、今は自分たちがやっているが自分たちも高齢化してきた、次やってくれる人達がなかなかいない。これを市はどう考えているのかと言われている。市の考え方として

は、今やっている方には引き続き頑張っただきたい、というのがひとつである。

しかしながら、会長も言われていたが、全部金額が一緒なのか。

(会長)

例えば、連合自治会の数によってその補助金というのは違う。もちろん人口割とか市からいただけるコミュニティ全体の予算も規模によって違う。ただし、コミュニティセンターの指定管理部分は全部一緒。

(市長)

川西と郡家では人口が違うが、それでも一緒か。

(会長)

市から指定管理料でくれる人件費は、所長1名と事務員1名。これは全部共通だと思う。

(市長)

島も一緒？

(会長)

島は所長が市の職員。所長分が島はちょっと異なる。要はコミュニティセンターの所長事務員の仕事量は、地域の住民数や自治会数によって大分変わってくる。でもそこは、今は均一でしかお金はいただいている。

川西の場合は、私から見たら少し特殊で、コミュニティセンターの事務所にいろんな人が何人も出入りするいわゆるワークシェアリング的な職員がいる。補助や、企業からの寄付も川西の場合は大分いただいているという話を聞いたりする。日赤の募金があり、共同募金があり、ご存じのように運営では花火も上げていて、その分の寄付も郡家の企業にお願いしているので、なかなかコミュニティに寄付をもらうのも難しいと思っている。

(市長)

コミュニティ活動の、人口がこれだけ違っても一緒という、これは検討させていただく。今の時点では、市が色々なことをお願いする、また民生委員や各委員を全部コミュニティの方へ、推薦して出して欲しいという、あれは大変だと思う。川西でもお願いして回っていたが大変であった。

また、時代がどんどん変わり市民ニーズも多様化しており、若い人もはっきりといろいろな要望や意見を言ってくれる方も増えた。そういう時代の中、コミュニティがどれだけ重要な位置かということ丸亀市としても思っている。ただ、それに参加してくれる人たちが上手く揃わないというところも理解しており、コミュニティ活動は重要であると言いながら、そんなにお金も出していない。申し訳ない。

市は、各コミュニティで活動している方々とは、今から諸問題を協議し、パートナーとしてより一層活動を続けていきたいという想いがあるということをお返答しておく。

(会長)

例えばこの敬老会にしたら、高齢者支援課とコミュニティとが、こうやりましょうという相談や、例えば企画はコミュニティで考えて、対象者への案内は市でお願いできないかという、そういう話し合いが欲しかった。お金を出すから全部やってという、私の受け止め方が悪いかもしれないが、そう受け止めた。高齢者支援課はやる気があるのかというのが私の印象で、今の課長にも、以前の私と市の話の聞いているかと言ったら、郡家の会長が怒っていることはちゃんと引き継ぎをしていると。

私が挨拶の中で話したように、お互いがもう少し話し合いながら、地域住民のためのことをするのがコミュニティの役割だと思っている。結局、結果的に今何もできないような状況になっている。私の認識としては、それは誰が被害を被っているかと言ったら、やはりこの校区にいる高齢者、敬老

会に出たかったけど何でないのかと悶々と思っている人が、被害者という言い方はいけないが、そういう方々の楽しみを一つ奪われているような形になっているということである。

(市長)

3番の回答もさせていただく。指定管理をコミュニティに直接しているが、これを例えば福祉事業団や社会福祉協議会、他団体に一本化してはどうかというご提案も検討していきたいと思う。ただ、担当課からの回答としては、これはやはり各コミュニティでないと成り立たないという内容である。

(会長)

もともと公民館の時は、退職された校長先生が館長。コミュニティになってからは、現職の職員が来たこともある。要は所長や事務員は、今、市は指定管理なので一切関係ないと。所長や事務員が退職しようが、全部コミュニティで探しなさいということ。実際、他でも困っているコミュニティがあると思う。所長は辞めたいけど、辞めるに辞められない。郡家は1年ごとに所長が変わっていた時代がある。

(市長)

川西も以前、市からのOBが所長として来たが、長く続かない。大変で気の毒と思う。

(コミュニティ2)

郡家はすることが多い。人口が多いから。

(会長)

だから、市を退職する人でも、郡家の所長はどうかと聞いたら、だいたい断る。

(市長)

結局は何十年か前に丸亀市がコミュニティとしてやっていくと言ってから、皆さん方がずっとご苦労されている。今や小学校区ごとの核になっているのは、全部コミュニティセンター。皆さん方には本当に敬意を表する。

(会長)

たぶん30年くらいになる。平成7年、8年くらい。私はその時、郡家コミュニティの事務局長をやってくれと、夜の会に月1回出てくれと言われた。最初は各団体全部出てきていた。幼稚園のPTAから婦人会。今はもう婦人会もない。各校区で残ったのは郡家と城北、飯山北南。婦人会も全部後継者がいない。民生委員も大変だと思う。なり手がなくて民生委員の定年が延びた。

(市長)

地域担当職員が来ているので、今話を聞いて思うことを簡単に意見があれば。

(地域担当職員)

指定管理料の人口配布でお金が、例えば体育館とかは実績で指定管理料を見直すが、コミュニティの実績で見直しをしてくれていないか。体育館とかは支出が増えていたら、電気代が今年ものすごい昨年と比べたら大分上がっているんで、次のときは加味して指定管理料とかで増やしたりする。

(会長)

そういう社会的要因の燃油代が高騰したのは対応してくれる。

(地域担当職員)

人件費、給料はコミュニティで任せていると思うが大体決まっているのか？

(会長)

所長はここからここまでの間で等決まっている。

(地域担当職員)

人数も決められているのか？

**(会長)**

所長事務員、1名1名。

**(市長)**

今日言われたような、地域担当職員も、みなさんがこういう意見持っている、こういう想いがあるからこうした方が良いということを意見具申することも地域担当職員。職員は遠慮なく、生活環境部長まであげて欲しい。

**(地域担当職員 2)**

例えば今言ったように、電気代とか社会的な要因になる部分については、後で協議しながら、追加で上げていくこともある。次年度の指定管理料に反映していくことがあるが、自主事業をやっている施設とコミュニティでは少し違うと感じた。

**(会長)**

コミュニティも社会教育団体は無料で使うが、その他の団体は有料で使える。その有料部分の、会社で言うと売り上げが増えた分は一旦市に預ける。コミュニティが稼いだ分は、翌年、半分だけコミュニティに返してくれる。

**(市長)**

半分だけ？

**(会長)**

ここには入らない。利用料金制をとってないため。利用料は市に納めて、その部分に対して半分だけ返ってくる、そういうシステムになっていると思う。そのシステムに疑問を持つ職員もいた。

**(コミュニティ 2)**

指定管理なのにこちらに入らない？

**(会長)**

指定管理も色々ある。使用料に関しては利用料金制を引くか引かないか、それは行政が決められる。それに対して指定管理が応募する。本当は民間がしたらいいと思う。民間活用として

**(地域担当職員)**

料金制をとらなければ、なかなか民間は来ない。コミュニティにとっては、利用料金制度をとったら儲かるのか。

**(会長)**

いや儲からないと思う。ほぼ無料。社会教育団体が主に利用。

**(地域担当職員)**

利用料金制をとることによって、サービスを向上して利用率を上げて、増えた分が収入になるので、利用料金制をとるのが普通の指定管理。

**(会長)**

最初に言ったように私は昔の所属団体で企画書を書いて提案して、指定管理者制度ができてから13年ぐらい行った。指定管理については自分では詳しいと思っている。だから、その指定管理を行ってきた自分から言わしたら、こういう施設は、指定管理者制度はあまり向いている感じではない。ほぼ無料で使う施設。だから、コミュニティセンターと言いながら、やはり地域住民は公民館というイメージがすごくある。地域住民の感覚で言ったら、コミュニティセンターは社会教育施設。だから、ふれあい祭りが一番活気づいている。

余談になるが、市民会館を大きくしたのは正解だと思う。前の900人程度の案を聞いたら、私も座談会に行ったことがあるが、みんなの劇場で市民が活用する市民会館を作ろうというのが、その前の



計画のメインだったと思う。丸亀市民はこういう公民館で大正琴の発表会をして、近所の人に来てくれて聞いてくれたらありがたい。わざわざお金出して大きなホールで発表会をするのは、そこまでなくていいというのが、私も地域の中でずっといろんなイベントを見てきていたので。ふれあい祭りでいきいき発表している。これは丸亀市の文化レベル。だから、どうせ市民会館を作るのであれば、やはり中央からのアーティストも利用できるような、そういう機会を市民に与える市民会館の方が、価値がある。

(市長)

私が市長になってすぐ、900人、お城の前に小さな市民会館を作ると決まっていた。議会からも、生涯学習機能が一つも入ってないと言われていた時に市長になった。大ホールは1500席必要だと思っていたので、場所を今の場所に変えて、結局1300席。生涯学習機能も入れて元の1300と同じで、座席はゆったりめにして、1300と、小ホールが360。これも180を360にした。でもあれを変えるのは一度基本設計まで終わっていたので大変であった。

(会長)

それこそ元の市民会館を知る職員が、元の900人の、今の学習センターに建てる図面を見て、稼働率1割から2割まで。年間稼働率2割を超えることはないと言っていた。

(市長)

余談にはなったが、今日その意見を言われて嬉しくなった。

(会長)

やはりコミュニティセンターは、そういう地域住民の発表の場という感じで使うから、指定管理運営が適した施設かどうかというのは、それは市としてどんな考えか分からないが、ただやはりコミュニティによっていろいろ全部差がある。そこは市長がおっしゃることはわかる。

(市長)

この約30年近くの間、コミュニティセンターが各まちの中心になって、そこで会長を中心とした役員の方々が、核になっている、丸亀がそうなったというのは本当にありがたい。まちづくりとしてもすごくいい形になっている。そこにちょうど過渡期があって、今日言われたようなことも原課部の方に持って行き、私も頭に入れておく。

(会長)

おっしゃる通りかと。過渡期、元気のあった高齢者の方が大体引退される。

(市長)

ぶり返しになるが、先ほど言っていた婦人会は、川西は早くに解散になった。

(コミュニティ2)

婦人部として残った。が、2年前まで婦人会長として来ていた。それで5つ6つ残った。

(市長)

婦人会は本当に、私は若い時でもいい感じだと思っていた。

(コミュニティ2)

辞めるに辞められない。

(市長)

でも、どんどん婦人会の解散みたいなことがおこってきた。

(コミュニティ2)

1年ごとに1つずつぐらい減ってきた。島が減って2つ。最後に残ったのが6つ。

(会長)

要は後継者不足だと思う。会長をする人がいない。婦人会という会組織があったら、やっぱり会長という職に就く人は誰か必ず必要。例えば長寿会があったら、会長を置かなくてはいけない。

(市長)

さっき言った多様性もあり、会長をしていた方が段々といろいろ言われるようになって、もうやめたい、そういう気持ちになった。そういう時代になってきているのかもしれない。こちらでは続けていただき感謝申し上げます。

(会長)

コミュニティの会長や連合自治会の会長にしても、本当に後継者が難しいと思う。私も今、私の次が誰か、全く当てがない。そういう風になってくるので、市もコミュニティ組織の運営の仕方は、急には考えなくていいが、ゆくゆくはどういう風にしていくか考えた方がいいと思う。

郡家でも市の職員退職者はたくさんいるが役員に入ってきたのは1名。

(コミュニティ 2)

確かに。市の職員の方が役になったのは1名。後は全然入ってない。その方ももう辞められた。

(会長)

なかなか市の職員のOBの人は地域貢献が。

(コミュニティ 3)

本当に福祉を経験されている市の職員だったら、民生委員とかいろいろな市関係の団体に所属して欲しいなと思っている。

(コミュニティ 2)

本当にいない。市のOBの方はならない。

(市長)

議員時代は私も敬老会を楽しみにして、これ全部届けてくれとか言われて、それを持っていくのも楽しかった。

(所長)

さっきの話に戻るが、駄目なのは駄目だと言ったらいい。それが一応ネックになっている。先ほどの情報が漏れたらいけないと部分。しかし関りは持ってくれないと。

(コミュニティ 2)

やはり市がかんでくれないとなかなか敬老会はできない。

(市長)

市長にさせていただいて、報告に対し質問する際に個人情報になるので市長にも言えません、ということが結構ある。内容までは言うがA氏とかB氏とかで全部表現される、そういう時代。

(コミュニティ 4)

個人情報で逃げている。それを盾にして。民生委員活動もそれ以上動けない。

(会長)

それはもう法律に基づいてお仕事されているからしょうがない部分はある。

(コミュニティ 2)

困ったときは民生委員に言ってくる。

(コミュニティ 3)

こちらからは動けない。情報をくれないから。我々の位置づけがはっきりしていない。

**(コミュニティ 4)**

できないことの肩代わりは市でやって、でいいと。

**(市長)**

そう言わず、お願い申し上げる。

**(コミュニティ 4)**

そのぐらい大変である。

**(広聴広報課)**

広聴広報課にもそういった、どこまで出せるのか等の相談が担当課から来る。他自治体の例や、法律に基づいてどこまでという見解を示す。やはり以前、年金情報が漏れた時期からすごく厳しくなっていて、そこから国が市に対して、締め付けというか、法律に基づいてどんどん厳しくなった。去年の4月から、個人情報の扱いに関してはもともと条例だったのが、法律に基づいた取り扱いに変わった。それによってもまた運用は変わっていくが、その敬老会の高齢者の方の情報については、おそらく今はコミュニティに業務委託みたいな形をお願いしていると思う。業務委託ということは市の事業。やはり目的外に使ってはいけないとかはあるが、その範囲内であればもちろん使えるという話で、ただ、それがひょっと漏えいする等が一番職員として気にしている点である。ただそこもきちんとクリアできれば、そういった情報をもとにいろんな企画も立てられると思うので、それはもう一度、今どういった状況なのかとか、今後その情報についてどこまでコミュニティに使っていただけるのか、高齢者支援課に確認したいと思う。

**(会長)**

その分の金額も、業務委託料で出すのは均一というのは、対象者の数が、はがきを出すのでも、ペットボトル1本出すのでも全然違う。50万円を超える規模のところもある。それならば、それこそ話し合いして、こういう企画を考えている、コミュニティからの見積もりみたいな感じで、ここまでは市がみようかとか、コミュニティ自体も共同募金などのお金があるので、敬老会に使う部分を持っている部分があるから、全額市が負担しなくてもいいとは思っている。そういうことを話し合いながらやっていく方がうまいこと進むのではないかと。

**(広聴広報課)**

実際コミュニティの運営の部分も、話し合いの中で例えば、こういったところが他の人口の少ない地域よりも負担になっているという、結果どうなるか分からないが、そういった話し合いが今はないのかなと。

**(会長)**

それはコミュニティなので、財政的支援団体ということで市の監査を受けるが、ちょうど令和5年度はなかった。監査のときに監査委員さんにも、均一というのは、市は考えなければいけないという話をさせていただいた。

**(広聴広報課)**

お茶一本についても実際本当に配ったのかと、市の中でもやはりすごく厳しく言われている。

**(市長)**

では、次の回答をさせていただく。

善通寺府中線、高松信用金庫から南に小学校の方へ入ってくる道について。私もここはちよくちよく通るので、細さや対向車が来た時のことはよく分かる。これも通学路の安全確保と要望をいただいているが、あの部分は今、道路の端を緑色に塗ることによって、安全対策をきちんととるようとしている。それともう一つは、蓋掛け（グレーチング）をしていき全部終わった。

全部私有地であるので、今後も待避場所をもう少し増やせたらいいと思う。

(コミュニティ 3)

結論を言うと、買収はなかなか難しいかなと思う。高松信用金庫から数百メートル、本当に狭い。給食の車両、2トン、4トンも通る。通学のときに、グリーンベルトは特に縁石がないので、歩行者がいても関係なく通る。やはり待避場所があれば、50メートル間隔とか、私有地が空き地であるので、買収が難しいのであれば借り上げ方式であれば、安いものである。

そこを借り上げて、車で例えば10メートルあれば待避して待てるので、それが数十メートル間隔であれば対策ができるかなと思う。ただ、それはきちんと買収してくれたらいいが、難しいならば借り上げ方式で、当面の対策としてはできる。

通学路は多分他のルートもあると思う。私は全部見てないのであえて他のルートは言わないが、私もしょっちゅうあそこを通っている。水路の蓋掛けは終わっている。ただ用水路としての田んぼに入れるための30センチくらいの水路はある。そこまでの蓋掛けはなかなか難しい。ただそういうところにおいても、使っていない田んぼを借り上げの交渉をされたらいいのかなと思う。買収してくれたらなおいい。

(市長)

それは私も指示する。私も今言われたこの道を大体通っている。そういう形で待避場所を。

(所長)

あの道は私が子供の時から通学路。私も通勤の時に通るが、やはり常にどこかで停まって待っている。すれ違えない。朝の通学時など非常に危ない。

(コミュニティ 3)

ほっともつとのところも信号機はついているが、あそこは車両が相互通行できない。だから必ずほっともつとの駐車場を歩いていく。私はあそこは通らない。私有地を大きな顔して通っている人がほとんどである。信号機の位置がややこしく、あれはおかしい。4メートル無いが、信号機をつけているので一番危ないところである。そこから200メートル、川があるところまでの間の対処は必要。グリーンベルトが意味なしにないから、子どもがかわいそう。2トン車同士が通ったら、子供はどこに逃げるのかという話。

(市長)

その次としては、令和3年、令和4年は特に集中豪雨があって、冠水したところが10数ヶ所。今まで冠水していないところでも10数ヶ所。高速道路の周辺もちゃんと把握している。

そういうのがあって、丸亀市総合排水計画を作っているところ。その計画というのは、全部具体的に調査もして、ここの排水を作らなければいけないということが出来ただけで、それを今から全部するのにどうしていったらいいかということまで出来ていない。私が指示したのは、本当に災害に近づくぐらいのところは3つぐらいあったので、その3つをまずは集中してどうやればいいのかということをお話した。現実論として、いっぺんに全部の排水をとというのは、何百億かわかるぐらいのすごいことになる。

1つは今までなかったような異常気象、要は丸亀も昔よく言っていた、高知の雨は違うみたいな、そんな雨が2、3時間続いて降ったりする。排水は全部できなくて、水が冠水する。

もう1つは、やはり水田がものすごく減った。水の行き場がなくなって、1つの方策としては国も推奨している田んぼダム、それと香川県ではやっぱりため池。田んぼダムと池をうまく活用をしようと、その辺のことは取り組んでいこうと思っている。

この総合排水計画でいうと、一番ひどいのが西汐入川のところ。昔からすぐ水が出て床下浸水に多

数なっていた。その排水対策は、ポンプで西汐入川に水を入れるしかない。その工事もかかっていて、それでも地元の人にとっては、西汐入川から上へいくすごい堰とポンプをつけるという、もう何百億あっても足りないような大工事。でもやらなければいけない。

土器のうぶすなポンプ場あたりのところの排水も、結局北の端の方で排水をどうやるか。あと大東川もかなりの水が出る。この辺は国と県でやらなければならない。

かといって、他にも今までなかったところが出るといいうことも、また放っておくわけではなく、そこは上手く専門家も入ってやっていこうということも、議会からも追求されているところである。しかし全部を調査して、ここはこうと確定をまずして、それならここにお金を取り入れていくということである。その予算は何百億をいっぺんに使えるわけではないので、優先順位をつけてやっていく。

例えば今言った3ヶ所以外に、これもそのままいうと、人工透析をする病院のあたりは水が出ていなかったのが、もう入口すれすれである。あそこはたくさんの方が人工透析のため通っていて、あそこに水が入って機能しなくなったら、他の病院に行くとなったらどこに行っているのか。人工透析のところはやらなくてはならないとは思っている。

郡家のこども、私も近所なのでもちろん知っている。ただここに予算が入るかといったら、少し後になる。安全性からいうと優先度が低いのは確か。しかし、やっていくということは確かである。

(会長)

そうやって正直に言ってくれる方がいい。前向きに検討すると言われたら期待する。

(コミュニティ3)

調査した報告は住民に周知した方がいいと思う。関係者だけではなく、きちんと全住民に。

(市長)

承知した。

(所長)

1部で、何か市長に聞きたいこととか要望とかあればよろしく願います。

それでは時間もせまっているので2部にうつる。

### 3. 第2部 テーマ選択方式による意見交換

(市長)

2部の郡家校区における空き家問題について。丸亀市は空き家が今2600ほどあると発表している。不動産屋とかの話では、確実な空き家と言われているのは2600程度だが、実際は9000近くあると聞いている。正確には把握していないが、約9000に近づいているということでどんどん空き家が増えていく。

ヨーロッパやアメリカは古い建物を手直ししてからそこに住もう、その方が安くつくみたいな感覚がある。今、日本も古民家再生と言っているが、この丸亀の現状を聞いたら、親の家はそのままにして一緒に住まない。新しい土地を買って新築の家を建てるといふ、日本の若者の特性かもしれない。人口は減っていつているのに、なんでこんなに土地が次から次へと売れていくのか、不思議でしかたない。

今日も午前中に福祉ママからも空き家対策をどうするのかと質問が出て、丸亀市も重点課題として取り組むようになっている。対策について、推測の部分もあるが簡単に説明する。

例えばずっと住んでいない、どんどん状態が悪くなって、傾いたり、倒れそうになったりするような古い家が建っているとする。代執行という言葉聞いたことがあると思うが、私が市長になってか

ら、危険すぎるが所有者が何もしていない通学路のところで2軒、市が費用を出してその家を取り壊した。その持ち主にはお金は全て請求するという形を取っている。

もう1つ、なぜ家を潰さないかの本当の理由は、土地の固定資産税は家があったら安いのが、なくなったら何倍にもなるため、みんな潰さずに置いていると思う。丸亀市はいろんな空き家対策を取ってきた。潰すのに補助をする、ブロック塀も危ないものは補助金を全部出してきたが、根本的にはその固定資産税を免除するという話をしている。

(所長)

それは聞いた。うちの隣も壊したが変わらないと言っていた。もうなっている。

(市長)

それを丸亀独自でした。これも1つの対策にはなるが、それを知らない人がたくさんいる。固定資産税は上げないから平地にするという、ここ最近のことである。

(コミュニティ3)

余談だが、住んでいない空き家の課税を高くして、住んでいる人は通常の課税にしたら自然に壊す。さっき言った逆の発想は。ただ、どこの時点で空き家とみなすか、転勤で空けているだけとか、そこらはきちんとしなければいけない。

(広聴広報課)

国の空き家に関するCMで、空き家として家が建っているだけでは減免の対象にならない場合がある、と今テレビで流していると思う。

(コミュニティ2)

空き家を潰すときにも助成金はあるのか。

(市長)

それはずっと丸亀市はやっている。その助成をしているが、それだけでもなかなかなので、さっき言った固定資産税の減免というのをやっている。

(コミュニティ3)

その目的でずっと壊さないで、補助金が出るまで言われるまで壊さない人もいる。お金を持っていても。自腹で壊すよりかは、補助金が出るまで空き家で持っている人がいたが、それはもうイタチごっこになる。そういう話を結構聞く。

(市長)

地元で、壊してほしいという要望がたくさんあった。みんなに迷惑かけているのにと不思議だった。

市長になってから空き家対策を重点として打ち出しているのだから、郡家でそういった案件が出たら、申し訳ないが何度も言ってもらえれば、職員がその持ち主に話をした方がやってくれる可能性もある。また、職員がこんな補助金がある、減免はもう全部している、そういう連絡をしたら、知らなかったと言う人もいると思うので、申し訳ないが、まめに市の担当課へ言っていただきたい。

(会長)

郡家でも田んぼが放置され森みたいになっているところがある。

(市長)

これは空き家ではなく休耕田の問題。うちの家の近所もすごい場所がある。

(会長)

屋敷と田んぼが引っ付いているところで空き家になっている処がある。空き家になって住む人がいなくなって何十年もなるが、その田んぼに草が茂っており木になっている。

(コミュニティ 2)

草に火が付いた時に困る。

(市長)

私も7年前に田んぼを休んだ。それから年に2回は私が草刈りをしていましたが、年に2回してもご迷惑をかけていたようで、今はお金を払って草刈りだけしてもらっている。

休耕田は今からもっと増えると思う。水田一反当たり1万円の補助、これを3年連続でさせていただいた。もちろん米価格が下落したのもあって、それを補填というところで焼け石に水、一反1万しても。しかし、もうここで田んぼをやめるかどうしようかと迷っている人がたくさんいて、私は一反1万でも応援するから続けて欲しいという思いで、これも2年連続では国の交付金でやったが、もう国の交付金はくれないので、3回目の今年は市費で出す。

(会長)

それはありがたいが、休耕田は大きな問題になると思う、市全体で見てほしい。

(市長)

空き家も休耕田もしっかり取り組んでいく。

(会長)

農業法人を作っているところがある。そこに年2回でも草刈り、田んぼを使ってもらうだけでも、休耕田は全然違うと思う。そういう農業法人を利用することに補助金を出すとか、個人にお願いするのはなかなか難しいと思う。

(コミュニティ 1)

休耕田の話が出たが、預かった場合は5年に1回は水田をしなくてはいけない。どういうレベルまでは分からないが、それをしなければ補助金が出ない。

(会長)

やはり国に法律を整備してもらわなければいけない。

(市長)

麦農家の方々からの要望もあり、国に行った。15分しか時間をくれなかったが45分は粘り、その課長と室長がこれはもう国で決まったことだと。言っていることはわかるが、それに代わる政策をやるのでと言ったのが2年前。まだ何も出てきてはいない。

私も水田を7年前までしていたから分かるが、どちらにしてもこれは引き続き国の方に訴えていく。

何かこの項目以外にも質問があれば。

(コミュニティ 1)

最後に私から。これは市長もご存じだと思うが、高速道路の前の法面に木が生えていた。今木があるところを除き全部伐採した。それでも自然に生えてくる木を重要視して管理されていると思うが、いっぱい草が生えている。今まで法面の下の丸亀市のエリアは溝を含めて掃除をしてくれていたが、今こういう状態で、種が落ちてきても去年あたりから溝掃除をストップした。今まで私も前の市長にお願いしてやってくれていたが、理由はわからないが去年はやっていただけていない。ここに草がいっぱい生えており、その種が落ちてきてすごい。車が通って中学生も通り、私も歩いて運動しているが、結構危ない状態なので、継続して溝掃除、草の処理をやっていただきたい。木が生えているところもある。

(市長)

この写真だけでどこか分かる。

(コミュニティ 1)

極端に草が生えているところもあるので、またお願いしたい。

(市長)

写真を持って帰り、直ぐ対応する。側道は全部市である。

(所長)

他に質問はないか。それでは予定の時間も少し超えたので、これで市長と語る会を閉会する。